

伝統工法を受け継ぐ技術職人

左官(壁を塗る職人)

つくれた建物が人々の暮らしを守る
職人として誇りを持てる仕事

鏝(こて)と呼ばれる道具を使って、さまざまな材料と水を混ぜた塗材を、建物の壁・床・天井に塗り上げていくのが左官の仕事です。これまでに、学校やマンション、倉庫など大型施設の補修工事を経験しました。自分が関わった建物を見ると、「人々の生活を支えている」という達成感とやりがいを得られます。職人という“頑固で口数が少ない”そんなイメージが強いかもしれませんが、やさしい人ばかり。私も「仕事がきれいで、人にやさしい職人」を目指しています。



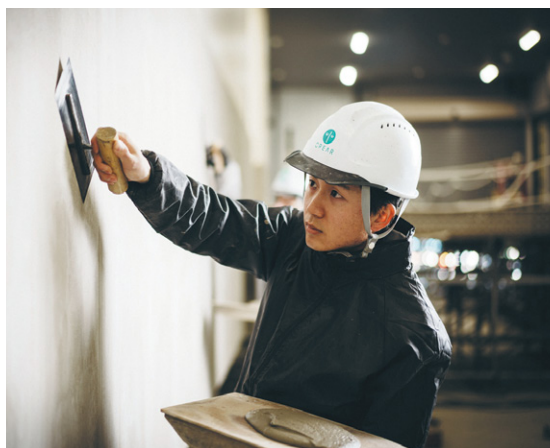
こんな人に向いています

- ☐ 向上心のある人
- ☐ 好奇心おう盛な人
- ☐ コツコツ物事に取り組める人
- ☐ 練習を繰り返し、技術を身に付けるのが好きな人

この仕事についてきっかけ

大学時代、地下鉄の車両内でクレア工業の職人募集広告を見かけました。その瞬間「これだ!」と直感したことが、きっかけでした。何か一つのことを極めていく作業が好きで、職人に対するあこがれもあったので、自分に向いていると思いました。

入社3年目
夏井 蓮人(ナツイ レント)さん



必要な資格・スキル、役に立った経験

- 飲食店でのアルバイトで身に付いたコミュニケーション力
- ※業務に関する資格は入社後に取得できます



お仕事の流れ

野丁場(のちようば)の左官

高層マンションやオフィスビル、ショッピングセンター、駅など大型施設の壁・床・天井・階段に、コンクリートやモルタルなどを塗ります。凹凸なく、平らに仕上げるのが重要です。



町屋(まちや)の左官

町屋の左官は、住宅や商業施設などの内装を仕上げたり、模様を描いたりします。インテリアとして見られる部分なので、技術とセンスが問われる難しい作業です。



塗材の調整

左官で使う塗材は、土・砂・石灰・モルタルなど、天然の素材から人工の素材までさまざま。気温や湿度など、その日の現場の状況を見極め、水で材料の濃さを調整します。



道具の使い分けと手入れ

1万種類以上もあるといわれる鏝。仕上げる場所の大きさや使う塗材の種類、作業内容などによって使い分けます。道具の手入れも左官職人の大切な仕事のひとつです。





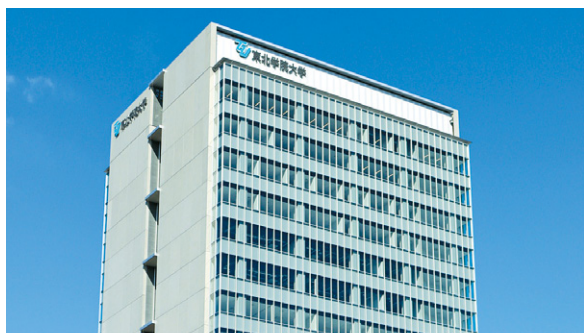
▶ たくさんの若手職人が活躍

高齢化が進む左官業界ですが、クレア工業では10～20代の若手が数多く活躍しています。育児休暇後に復帰したり、工事現場で指揮・監督する「職長」として勤務したりする女性職人もいて、年齢・性別に関係なくキャリアを積んでいます。



▶ 実技トレーニングで技術アップ

職人の技術は「見て覚える」部分が多いもの。社内の研修施設で見本動画を見て、手や体の使い方、道具の角度、視線などを真似します。お互いに作業の様子を撮影し、競い・励まし合いながら技術力の向上を目指します。



▶ 仙台市にある大規模施設で左官工事に関わっています

職人としてのキャリアや持っている資格によって左官のレベルが変わります。現場でリーダーを務める「1級左官技能士」の在籍数は東北地方でトップクラス。ベテランから若手まで70人を超える左官職人が、各現場で活躍しています。東北学院大学五橋キャンパス、アクアイグニス仙台、仙台市地下鉄東西線連坊駅、仙台徳洲会病院など、多くの人が利用する大規模施設の左官工事を手がけました。

プロバスケットボールチーム「仙台89ERS」を応援

仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして“黄援（おうえん）”しています。過去にイベントデーでコラボレーションしたり、地元中学校のバスケットボール部の生徒を試合に招待したりするなど、左官やクレア工業を知ってもらうきっかけになっています。



職場ではこんな人も働いています

- 建築士
- 住宅リフォーム担当
- 広報・宣伝担当



夏井さんからの
メッセージ



クレア工業株式会社

仙台市若林区かすみ町 24-15
TEL / 022-286-7287
創業 / 1970年8月
<https://crear-indst.jp/>

職場見学の相談も可能です。

【連絡先：022-286-7287 / 総務部まで】

※諸事情によりご要望に沿えない場合もありますので
あらかじめご了承ください。

「街」を創り、「暮らし」をまもる
CREAR クレア工業株式会社

